

本校は、昭和54年に知的障害のある子どもたちのために開校した今年で47年目を迎える特別支援学校です。小学部、中学部、高等部があり、12年間、6年間、3年間、この本郷の地で学びを重ねていきます。

本郷に集う子どもたちは、自分の思いを全身で表してくれます。「気持ちを分かって、分かって」「もっと学びたい、学びたい」「もっと伸びたい、伸びたい」と。

学校教育目標にある

「わかって動ける力」

「適切なコミュニケーション力」

「心身ともに健康・安全に生活する力」

を一人ひとりの子どもたちに応じて身に付け、学校、地域、社会で今そして未来に豊かな生活ができるように、私たち教職員は一人ひとりの子どもたちの思いを受け止め、寄り添い、よさを生かした教育活動を進めていきます。

教育学者の林竹二先生は著者で「学んだことのたった一つの証は変わることである」と言っています。学びの過程を大切にし、小さな変容をその瞬間、授業ごとに価値づけていくことの大切さを伝えてくれているのだと思います。

朝の「よく来たね」「おはよう」、授業での「〇〇が分かったね」「〇〇に気付いてすごいね」「〇〇ができたね」、帰りの「今日は〇〇を頑張ったね」「明日も一緒にやろうね」「また明日ね」など、よさや小さな変容を価値づけ、褒めたり、励ましたりする声があふれるあたたかい学校でありたいと思います。

今年度も保護者のみなさま、地域、関係諸機関のみなさま、本郷とつながるすべてのみなさまのご理解とご協力をどうぞ、よろしくお願いいたします。

学校長 菅井 昭宏